

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2009-234491(P2009-234491A)

【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2008-85068(P2008-85068)

【国際特許分類】

B 6 0 T 11/16 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 11/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月7日(2011.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有底筒状のシリンダ本体と、
鍛造により有底筒状に形成され、前記シリンダ本体内を摺動するピストンと、
該ピストンを前記シリンダ本体の開口側へ付勢するバネを備え前記ピストンの内底部に
当接可能なりテーナにより前記バネの長さを規制したバネ組立体と、
を有し、
前記ピストンの前記内底部の最外周に鍛造により環状溝を形成したことを特徴とするマ
スタシリンダ。

【請求項 2】

前記リテーナは、前記内底部の前記環状溝よりも内周側に形成される平面部に当接する
ことを特徴とする請求項 1 に記載のマスタシリンダ。

【請求項 3】

前記リテーナは、前記ばねの端部の外周が前記ピストンの筒状部の内周面に密嵌するこ
とで前記ピストンに拘束されることを特徴とする請求項 2 に記載のマスタシリンダ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明によれば、ピストンの内底部の最外周に鍛造により形成される円弧状壁面部をピ
ストンの内底部のリテーナの座面よりも奥側にずらすことができる。したがって、ピスト
ンを鍛造により形成してもその内底部の最外周へのリテーナの干渉を防止でき、ピストン
の良好な摺動性能を確保することができる。